

第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2017年5月13日（土）～14日（日）

@サンポートホール高松、高松シンボルタワー、JR ホテルクレメント高松

プレコングレスワークショップ 2	
企画名	心電図ハンター・ハンター Part 1（隠れ STEMI ハンターと STEmimic ハンター）
日時	2017年5月12日（金） 11:40～13:10
会場	第4会場（サンポートホール高松 ホール棟 6F 61会議室）
企画責任者	増井 伸高（札幌東徳洲会病院）
定員	72名
開催の目的・概要	
<p>【開催の目的】</p> <p>循環器医師は実は、“非”循環器医が現場で困る心電図ポイントがわからないことが多い。彼らに「この心電図でなぜもっと早く呼ばないのだ！」または「この心電図は急ぐ病態ではない！」と言われても（口にせず思っている場合も）、それがなぜかは案外お互い理解できてないのだ。</p> <p>そこで、心臓カテーテル検査をしないプライマリ・ケア医が求められる虚血“型”心電図判断について講義する。年間数千枚の心電図に暴露され、研修医と循環器医師とそして患者さんと苦楽を共にする ER 医師がそのノウハウを完全伝授。</p> <p>参加型セミナーで実際の心電図を千本ノックの如く読影しながら、虚血“型”心電図判断を受講中に完全に身につける。参加者は講義終了後に以下の二つのハンティング能力を手に入れる。</p> <p>【概要】</p> <p>ハンター能力1 隠れ STEMI ハンター</p> <p>気をつけないと STEMI（ST 上昇型心筋梗塞）に見えなく、あとから循環器医師に「この心電図でなぜもっと早く呼ばないのだ！」と言われるような“隠れ” STEMI を判定しハンティング出来る。</p> <p>ハンター能力2 STEmimic ハンター</p> <p>一見すると虚血変化に見えるが、実は違う mimic（擬態）STE(ST 上昇)を判断できるようになる。循環器医師に「この心電図は急ぐ病態ではない！」と言われる回数が減り、過剰な Management を防ぐことが出来る。</p> <p>* 参加者には、復習動画の URL をプレゼント。講義後も自己学習・振り返りができるようにします。</p>	